

マンホール鉄蓋段差補修材

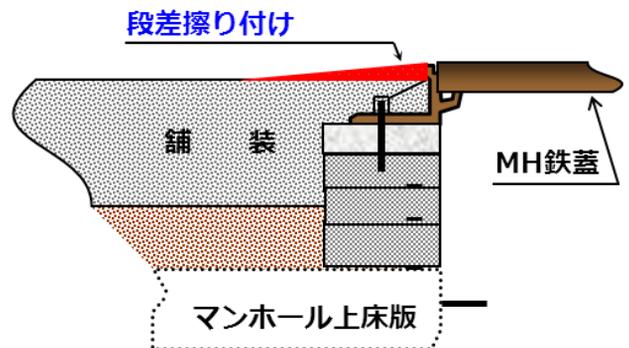
ギャップイレイザー

ギャップイレイザーはアスファルト舗装やコンクリート面に優れた接着性を示す速硬型の弾性エポキシグラウトです。速硬化弾性エポキシ樹脂に特殊骨材を配合して、硬化時の発熱を抑え、収縮を低減した流動グラウトで、硬化養生時間が短く、マンホール鉄蓋と舗装面との段差補修に最適な材料です。



【主な特徴】

1. 鉄蓋を取り外すことなく、段差補修ができます。
2. 弾性エポキシ樹脂を使用しているため、アスファルト舗装との追随性が高い。
3. 骨材に硅砂、フィラー等を使用しているため、ゼロ擦り付けが可能です。
4. 強度の発現が極めて早い。
5. 高い圧縮・曲げ・引張・接着強度を示す。
6. 硬化反応熱が低く硬化収縮が少ない。
7. 耐油性・耐薬品性・耐久性に優れる。
8. 1箇所2時間程度で交通開放が可能。



【物性】

試験項目	試験方法	養生条件	単位	試験値
圧縮強度	JIS R 5201	40℃×4時間	N/mm ²	33.9
曲げ強度	JIS R 5201	40℃×4時間	N/mm ²	29.1
引張せん断接着強度 (鋼材相互)	JIS K 6852	40℃×4時間	N/mm ²	14.7

使用材料

項目	主剤	硬化剤	骨材
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	珪砂 フライアッシュ フィラー
重量	0.30kg	0.12kg	1.20kg



- A : 主剤
- B : 硬化剤
- C : 骨材
- D : ノンスリップ材

施工方法



①施工前



②マスキング



③主剤と硬化剤の混合



④樹脂と骨材の混合



⑤段差補修



⑥施工後

アイレック技建株式会社

〒111-0034

東京都台東区雷門1-4-4 ネクストサイト浅草ビル

TEL:03-3845-8109 FAX:03-3845-8119

URL:<http://www.airec.co.jp/>

お問合せ

東日本営業本部 第一事業部

〒111-0034

東京都台東区雷門1-4-4 ネクストサイト浅草ビル6F

TEL:03-3845-8187 FAX:03-3845-8190

高流動性無収縮モルタル

AI-MORTAR

マンホールの高上げなど時間短縮や緊急を要する施工に最適です。

超 速 硬

短時間で硬化し、初期に高い硬度が得られます。

無 収 縮

硬化の際、収縮やブリーディング現象が無いので、設定レベルが狂うことなく枠と密着します。

高い流動性

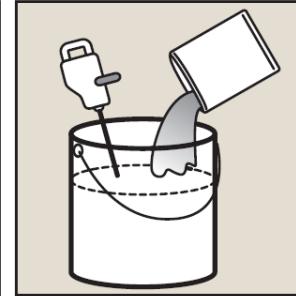
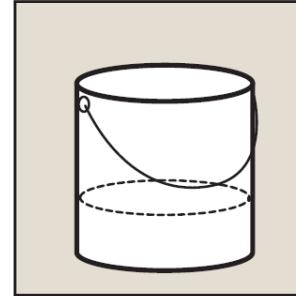
流動性に優れており、わずかな隙間にも充填できます。

AI-MORTAR は、鉄蓋を支える調整部に充填することにより、健全な構造をスピーディに施工することができる特長を持っています。



使用 方 法

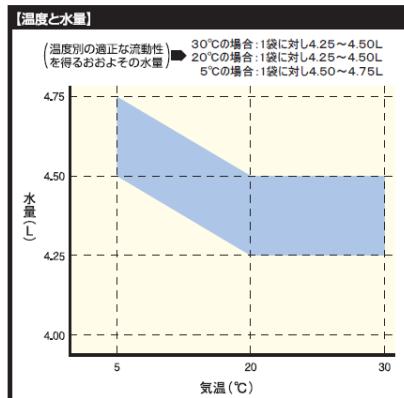
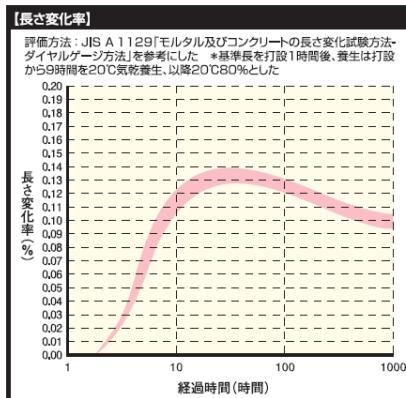
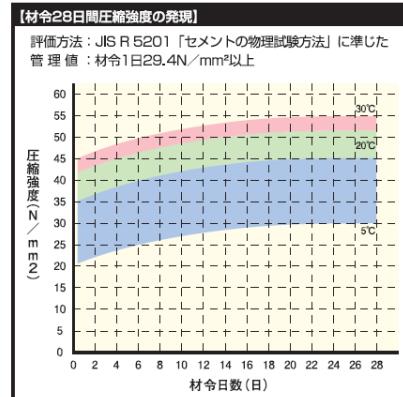
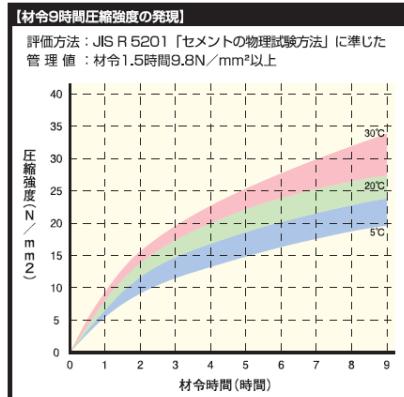
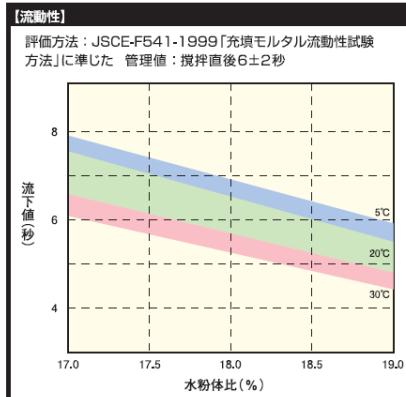
1. 容器に水を必要量入れます。
2. ハンドミキサーで攪拌しながらグラウト材を徐々に入れます。
3. 流し込み最適なアンカー穴からグラウト材をロートで充填します。
4. 硬化後脱型し施工完了です。



適正な流動性を得るために温度に応じて水量を調節して下さい。

温 度	1袋(25kg入り)に対する水量
30℃	4.25 ~ 4.50 リットル
20℃	4.25 ~ 4.50 リットル
5℃	4.50 ~ 4.75 リットル

性 能



【温度、水量による一般性状】

要因	性能	流下時間	着脱可能時間	圧縮強度
混練水量	多	早くなる	長くなる	低下する
	少	遅くなる	短くなる	増加する
養生温度	高	早くなる	短くなる	増加する
	低	遅くなる	長くなる	低下する

本パンフレット内測定値は試験・実験施設内でのデータです。施工現場での実測値はこのデータより変動する場合があります。

使用期限は4ヶ月が目安です。

- 手練りはせず、電動攪拌機を使用して下さい。
- 攪拌機はアルミ製の羽を使用しないで下さい。
- 攪拌の際、プラスチック製の丸型ペール(推奨)を使用して下さい。(角型は攪拌不良の原因となります。)
- 混練の際は、攪拌しながら本品を投入して下さい。(水を注ぎながらの攪拌は、混練不良の原因となります。)
- 混練の際、水量が多すぎると水と骨材の分離により強度不足になりますので、水は適量を守ってください。
- 使用条件により変色する場合があります。
- 保管(貯蔵)の際は、出来るだけ乾燥した室内に置いて下さい。

【使用上の注意】

主原料	●セメント、珪砂
取扱上の注意	●眼、皮膚への接触を避けるために保護具(ゴム手袋、長靴、眼鏡、マスク、帽子など)を使用して下さい。●皮膚、頭皮に接触すると炎症を起こすことがあります。●食べたり、吸引などしないようにして下さい。●標準配合を守り、水以外のものを入れないで下さい(反応して危険場合があります)。
応急処置	●眼に入った場合は速やかに清浄水で十分に洗眼し、医師の診断を受けて下さい。●吸引した場合は速やかに新鮮な空気の場所に移動し、水でよくうがいをし、医師の診断を受けて下さい。●皮膚に接触した場合は、清浄な水で十分に洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
保管方法	●水で濡れる場所や、多湿の場所での保管は避けて下さい。●直射日光を避けた屋内で保管して下さい。●粉塵爆発の可能性を高めるような保管方法は避けて下さい。
廃棄上の注意	●都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理を行って下さい。

■本製品の仕様は予告なく変更する場合があります。記載内容は施工保証するものではありません。



アイレック技建株式会社

〒111-0034

東京都台東区雷門1-4-4 ネクストサイト浅草ビル

TEL:03-3845-8109 FAX:03-3845-8119

URL:<http://www.airec.co.jp/>

1. 特長

アイレジコンSは、積雪地域における除雪車のブレードの衝撃に対する耐久性に優れ、メンテナンス頻度が少なく経済的なプレミックスタイプのエポキシグラウトです。
速硬化エポキシ樹脂に特殊骨材を配合して、硬化時の発熱を抑え、収縮を低減した流動グラウトで、硬化養生時間が短く特殊な工具も必要ないことから、マンホール鉄蓋周辺舗装工事での大幅な時間短縮が図れます。

2. 材料構成

品名
①アイレジコンS(粗粒)
②アイレジコンS(細粒)
③アイレジコンSプライマー
④アイレジコンS203
⑤エメリー

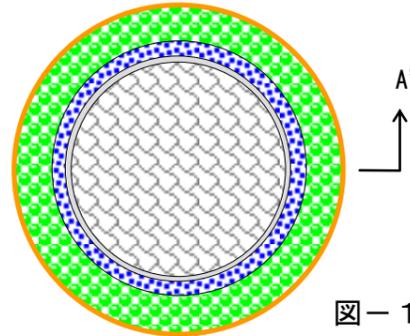


図-1 円形施工概要図

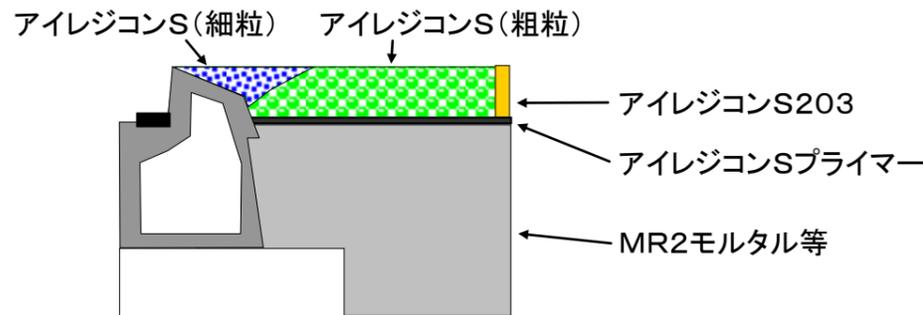


図-2 アイレジコンS施工構成図

3. 主成分

- ・アイレジコンS〔主剤〕 主成分：ビスフェノールAジグリシジルエーテル
：脂肪族ジグリシジルエーテル
- ・アイレジコンS〔硬化剤〕 主成分：脂肪族ポリアミン
- ・アイレジコンS〔骨材〕 主成分：骨材(シリカ質骨材)

4. 硬化物の性状

試験項目	試験方法	硬化条件	単位	数値
曲げ強度	JIS K 7203	23°C 70分	Mpa	0.24
		23°C 90分	Mpa	3.01
		23°C 120分	Mpa	7.55
		23°C 180分	Mpa	21.6
圧縮強度	JIS K 7208	23°C 70分	Mpa	0.79
		23°C 90分	Mpa	15.0
		23°C 120分	Mpa	21.0
		23°C 180分	Mpa	40以上
せん断接着強度	JIS K 6852	23°C 7日	Mpa	15以上

5. 長期信頼性試験

重車両の繰り返し走行を再現できる輪荷重繰り返し載荷試験及び、除雪グレーダーによる横方向衝撃試験により、アイレジコンSの長期信頼性(摩耗・沈下・ひび割れ等の有無)試験を行った。

①試験条件

使用機械名 : 輪荷重繰り返し載荷試験機
 輪荷重 : 16tf(片輪8tf)
 回転速度 : 22.5km/h
 回転数 : 50万回転

使用機械名 : 除雪グレーダー
 総重量 : 約15t
 走行速度 : 約10km/h
 走行回数 : 80回

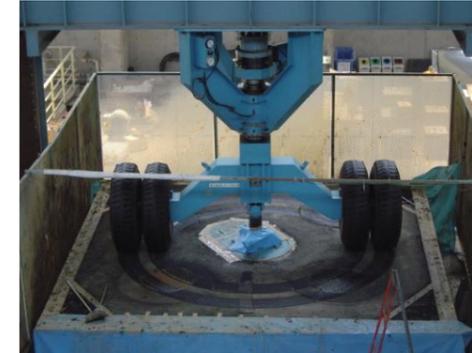


写真-1 輪荷重繰り返し載荷試験機



写真-2 横方向衝撃試験

②試験結果(輪荷重繰り返し載荷試験)

アイレジコンS部には摩耗・剥離及びひび割れは確認されず、耐久性があることを確認した。また、マンホール鉄蓋との接着力が強いこと、鉄蓋周辺のアスファルト舗装材との密着性が良いことも確認した。



写真-3 載荷試験前の状況



写真-4 載荷試験後の状況

③試験結果(方向衝撃試験)

アイレジコンSは、鉄蓋及び周辺のアスファルト舗装との密着性が高く、剥離・ひび割れは確認されず、一様に切削されていく状況を確認した。



写真-5 衝撃試験前の状況



写真-6 衝撃試験後の状況